

GSC020-11

会場: 101

時間: 5月23日16:06-16:18

デジタル4次元地球儀ダジックアースを用いた展示と授業

Four-dimensional digital globe, Dagik Earth, in class rooms and science museums

齊藤 昭則^{1*}, 吉田 大紀¹, 小田木 洋子¹, 津川 卓也², 高橋みどり³

Akinori Saito^{1*}, Daiki Yoshida¹, Yoko Odagi¹, Takuya Tsugawa², Midori Takahashi³

¹京都大学大学院理学研究科, ²情報通信研究機構, ³国立科学博物館

¹Kyoto Univ., Graduate School of Science, ²NICT, ³National Museum of Nature and Science

ダジックアース(http://dagik.org/dagik_earth)は地球の立体表示を簡単に行う仕組みで、科学館での展示と小中高校での授業に用いられている。地球の立体表示には、日本科学未来館のジオコスモスや米国NOAAによるScience on a Sphereなどがあり、地球を実感を持ってみてもらう事に成功しているが、どのシステムも大規模かつ高価であり、手軽に用いる事が出来ない。ダジックアースは半球型の風船を用いた仕組みであり、軽量なため、学校の黒板に設置することもでき、授業での利用が容易である。また、通常のパソコンとPCプロジェクタを用いるため、導入のコストも非常に低い。ダジックアース・プロジェクトではハードウェアの整備とその貸し出し、授業及び展示プログラムの作成とその実施を行っている。発表では、ダジックアースの仕組みとそれを用いた授業と展示例の紹介を行う。

キーワード: デジタル地球儀, 地球科学, 地学, 授業, 展示, インターラクティブ教材

Keywords: digital globe, earth science, class room, exhibition, interactive